

あつまデイサービス

調理レク

4月14日、15日に調理レクリエーションで焼きそばを作りました。切る、細かくちぎる、焼く、混ぜる、盛りつける等全員が調理に関われるよう役割分担を行い楽しくおいしく調理レクを行うことができました。

調理している時の真剣な表情や、食べている時の笑顔がステキです。



厚南デイサービス

ボランティア演芸会

2月にボランティア演芸会を行いました。

豊丘にお住まいの吉井稔さんにはカラオケを、哉メ座の皆さんには日本舞踊を披露していただきました。

利用者さんは手拍子をして楽しんでいました。



編集後記

さわやかな風が心地よい季節となりました。新年度の慌ただしさも少し落ち着き、日常にリズムが戻ってくる頃かと思えます。皆さまにとって実り多き月となりますように、心よりお祈り申し上げます。

職員募集

◆厚真リハビリセンター

介護福祉士 1名

勤務時間については、相談に応じます。

履歴書（写真付）をご持参または郵送下さい。

※詳細については、ご連絡下さい。

電話 0145-27-3111

担当 橋場

寄附・寄贈

工藤敏克 様 小林絢子 様
木戸嘉則 様 池川義厚 様
安田憲司 様 高田照明 様
苦東石油備蓄株式会社 様



今年の主な行事予定

4月	辞令交付式
5月	理事会・監事監査 公認会計士監査 総合避難訓練
6月	定時評議員会・理事会 田舎まつり参加
7月	監事監査
8月	法人認可記念日 理事会 避難訓練（自然災害） 納涼の会
9月	サマーフェスタ（夏祭り） 敬老会
10月	監事監査・公認会計士監査 夜間招集訓練 焼き芋の会
11月	理事会・臨時評議員会
12月	クリスマス会
1月	初詣・新年ゲーム大会
2月	監事監査 ランタンまつり・節分会
3月	理事会 ひなまつり会

※都合により変更する場合があります。

厚真福祉会だより

第87号
令和7年5月

発行 社会福祉法人
北海道厚真福祉会
責任者 理事長 近藤 泰行

〒059-1623
勇払郡厚真町新町116-3
TEL (0145) 27-3111
FAX (0145) 27-3760



面会方法について

面会は事前予約制となっておりますので、各事業所にご連絡の上、面会をお願いいたします。

記

連絡先 厚真リハビリセンター 0145-27-3113
豊厚園 0145-27-3246

令和7年度事業計画

厚真町における人口、高齢者人口および支援・要介護認定者数の推移は、令和6年3月に策定された「第9期厚真町高齢者保健福祉計画・厚真町介護保険事業計画（A-9プラン）」によると、令和22年度までは、人口減少の割合よりも高齢者数の減少の割合が少なく、結果的には高齢化率が上昇するとともに、要支援・要介護者数は微増となるとされています。

また、国は、高齢者の介護が必要になっても、住み慣れた地域や住まいで尊厳ある自立した生活を送ることができるよう、質の高い保健医療・福祉サービスの確保、将来にわたって安定した介護保険制度の確立などを目指しています。

一方、社会福祉法人の運営に関しては、令和6年3月に介護報酬・障害福祉サービス等報酬の改定内容が示されましたが、内容は介護報酬改定率ではプラス1.59%、障害福祉サービス等報酬改定率ではプラス1.12%と物価高騰の長期化や人件費の底上げなどが進む中で、非常に厳しいものとなっています。

この状況下で社会福祉法人全体の35.7%、特に介護では、45.8%の法人が赤字経営を強いられ、経営努力のみでは対応が困難な状況にあると言われています。

北海道厚真福祉会も同様に、平成30年北海道胆振東部地震、新型コロナウイルス感染拡大及び物価高騰の長期化などにより利用者数の減少や物価高騰による必要経費の増大など法人経営は非常に厳しい状況にあります。

また、介護人材の確保も大変厳しいのがあり、令和6年度においては、人材紹介会社を通じて人材の確保を余儀なくされました。

このような現状と令和4年度、令和5年度と大幅な赤字を計上したことを踏まえつつ、当法人が厚真町内の中核的な存在であること、そのための役割と責任を果たすことを念頭に、より積極的な事業所運営に取り組んでまいります。

とりわけ、あつま居宅介護支援事業所における介護支援専門員（ケアマネジャー）の増員を行い、厚真町内における居宅介護支援事業の充実とシェア拡大を進め、法人各事業の利用者増につながる体制を整備してまいります。

豊厚園 もちつき

3月5日にもちつきを行いました。「よいしょー」という掛け声とともに力強くもちをつくことができ、会場は大盛り上がり。つきたてのおもちはお汁粉、きなこ、みたらしなどにして様々な味を楽しみました。



経営の基本

《経営理念》
社会福祉法人北海道厚真福祉会は、利用者の自己選択と自己決定を尊重し、個人の尊厳（個人の人格・人としての権利）に配慮した良質かつ安全・安心なサービスを提供する社会福祉事業の経営に努めます。

1. 利用者の自立支援

利用者一人ひとりの尊厳（個人の人格・人としての権利）を尊重し、利用者や家族が希望するサービスを個々人の障害特性や要介護度に応じて、個別支援計画や施設サービス計画を策定し、これを基本にした専門的な支援を行い、利用者が安全に安心して楽しく生活ができる事業運営を目指します。

2. 健全経営の実現

法人の主体性と自立性を高めるとともに、社会規範を遵守し、社会福祉事業の担い手にふさわしい適正な法人運営に努めます。また、予算や事業の重点化及び効率化、並びに収入の確保を進め、安定した経営と活力あふれる経営を目指します。

3. 職場環境の充実

北海道厚真福祉会が果たすべき役割についての認識を高め、適正な職員配置、専門的な知識・技術の向上、及び職員待遇の向上に努め、誇りをもって働くことができる魅力ある職場環境を目指します。

4. 地域社会への貢献

利用者や家族、厚真町民などに対して、身近にある福祉サービスの要の役割を果たし、地域にとつて必要不可欠な存在にふさわしい活動を目指します。

法人運営

- 社会規範を遵守した効率的かつ効果的な法人・施設運営の推進
- 職員各自の役割と責任に基づいた施設運営、福祉サービスの推進
- 地域における公益的な取組の実施
- 将来の施設運営を担う人材育成のための研修（キャリアパス）等の実施
- 新規採用職員研修、職場内研修、外部研修等の実施
- 職員待遇の改善
- 給与の改善
- 給料表の改定に伴う格付けの見直し
- 勤務体制の改善
- 完全週休2日制の一部導入
- リフレッシュ休暇の導入
- 介護職員等処遇改善手当の継続
- 介護職員の適正な配置に基づいた介護・支援体制の充実・強化
- 介護報酬の適正な執行及び経営の安定化
- 介護報酬、障害福祉サービス等報酬に基づいた予算の編成、執行
- 新施設建設資金借入金返済計画を踏まえた予算の編成、執行
- 定員充足率向上の取り組み強化及び各種経費の削減徹底による安定経営
- 新型コロナウイルス感染症対策の強化・徹底継続
- 新型コロナウイルス感染症発生時に備えた感染防護員等の備蓄
- 災害発生時における「介護職員等派遣災害」登録継続
- 災害発生時に備えた飲料水・食料品等の備蓄

事業運営

- 施設ごとに利用者へ安全・安心なサービスの提供
- ※詳細は、施設ごとの計画書による。

各種委員会

- 事故防止委員会
 - 事故（骨折、転倒、転落、誤薬等）防止対策の実施
 - 看護職員と介護職員の連携による医療的ケアの実施
- 感染症対策委員会
 - 新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等に関する感染予防、蔓延防止対策の徹底
 - 新型コロナウイルスワクチン・インフルエンザワクチン予防接種の支援
 - 新型コロナウイルス感染者発生シミュレーション訓練の実施
- 防災対策委員会
 - 消火・通報・避難、その他必要な訓練の実施
 - 救急救命に関する講習の実施
- 苦情解決委員会
 - 利用者、家族等からの苦情・相談への適切な対応
- 権利擁護・虐待防止委員会
 - 権利擁護及び虐待防止対策の実施
 - 職員の意識に関する調査、職員に対する指導の実施
- 給食運営委員会
 - 行事食や季節感に富んだ食事の提供
 - 嗜好調査等に基づいた食事の提供
- 特別委員会
 - コロナ禍における法人的行事（福祉会祭り）等の企画、実施
 - 地域における公益的な取組の実施
- 広報委員会
 - 厚真福祉会だよりの発行
 - ホームページの管理、運営
- 衛生委員会
 - 職員の安全、健康確保の取組み実施
 - 職場環境の改善

厚真リハビリセンター ゲーム大会

3月6日にゲーム大会を行いました。廊下では風船レースを開催しました。2チームに分かれて、どちらが早く風船をゴールまで運ぶことができるかを競いました。風船を落とさないよう必死に繋いで僅差の勝負となりました。



別会場では麻雀を行いました。麻雀を打つ表情は真剣そのもの。熱い勝負が繰り広げられました。

